同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

1. 看護学研究分野

看護学研究分野では、「共通科目」の履修をとおして、看護学研究や実践を支える基礎的理論、研究手法を修得し、研究倫理に関する理解を深めるとともに、「専門科目」である「看護学研究科目」を履修することにより、生涯発達の視点で対象及び家族、健康に関する諸制度と看護の関係をそれぞれ理解することにより、様々な健康状態にある対象への看護上の課題に取り組む。そこで明確になった研究課題について、研究計画の立案からデータの収集、解析等を経て、「特別研究」で修士論文を作成する。

4) 勤務先のD市で保健行政に参画し、教育的・研究的指導が担える看護職者を目指し、広域看護学領域を主たる研究分野とし、長期履修制度を活用した学生の場合

(1) 入学までのプロセス

大学看護学部を卒業後、保健師としてD市にて15年間勤務。長い経験知を理論的に発展させ、事象に対する分析的視点を持ち、理論を検証できる能力を身につけ今の職場に生かしていきたいと考え、勤務しながら学べる3年間の長期履修制度を活用して大学院に進学した。

(2) 科目選択

①共通科目 (必修8単位, 選択4単位 計12単位)

看護学研究特論, 看護研究方法論, 理論看護特論, 看護倫理特論, 科学英語論文クリティーク, 看護管理特論

②看護学専門科目 (広域看護学領域 選択10単位)

公衆衛生看護学特論 I, 公衆衛生看護学特論 II, ウイメンズヘルズ特論 I, 看護学演習

③特別研究 (選択8単位)

特別研究

(3) 修士論文テーマ 「育児期の女性における健康観と健康行動に関する研究」

(4) 修了後の進路

修了後、勤務していたD市の保健師長として教育的・研究的指導を担う。

また、健康教育事業を改善するため、積極的に取り組みを、住民の健康づくりの質向上に努めている。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修年次		
			必修	選択	1年生	2年生	3年生
共通科目	看護学研究特論	1春	2		○		
	看護研究方法論	1秋	2		○		
	科学英語論文クリティーク	1春→2春	2			○	
	理論看護特論	1春	2		○		
	看護倫理特論	1春→2春	2			○	
	看護教育特論	1春	2				○
	看護管理特論	1秋→2秋	2			○	
	健康科学特論	1春	2				○
小計(8科目)	—	8	8		6	6	
看護学研究科目	臨床看護学 成人看護学特論 I	1春	2				
	成人看護学特論 II	1秋	2				
	ウイメンズヘルズ特論 I	1春→2春	2			○	
	ウイメンズヘルズ特論 II	1秋	2				
	広域看護学 高齢者・在宅看護学特論 I	1春	2				
	高齢者・在宅看護学特論 II	1秋	2				
	公衆衛生看護学特論 I	1春	2			○	
	公衆衛生看護学特論 II	1秋	2			○	
	看護学演習	1秋	4			○	
	小計(9科目)	—	20	20	8	2	
専門科目	助産学概論	1春	2				
	リプロダクティブヘルズ論	1春	2				
	ペアレンティング援助論	1春	2				
	妊娠期助産診断技術学	1春	2				
	分娩期助産診断技術学	1秋	2				
	産褥・新生児期助産診断技術学	1春	2				
	助産診断技術学演習	1通	2				
	地域母子保健論	1秋	1				
	助産マネジメント論	1秋	2				
	助産学実習 I	1春	2				
	助産学実習 II	1秋	7				
	助産学実習 III	2通	2				
	小計(12科目)	—	28	28			
	発展科目	赤ちゃん学特論	1秋・2秋	2			
	国際母子保健論	1秋・2秋	1				
	統合ヘルスクエア論	1秋	1				
	遺伝カウンセリング論	1秋・2秋	1				
リプロダクティブヘルズ演習	2春	1					
高次助産診断技術学演習	2通	1					
助産学実習 IV	2春	2					
助産学実習 V	2秋	2					
小計(8科目)	—	11	11				
特別研究	特別研究	2通→3通	8			○	
	課題研究	2通	4				
	小計(2科目)	—	12			8	
合計(39科目)	—	8	79		30		